

## NEWS RELEASE

2017年9月8日  
株式会社三菱総合研究所

## 2017年4-6月期2次QE後「内外景気見通し」改定値

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝)は、内閣府より9月8日に発表された2017年4-6月期GDPの2次速報値(2次QE)を受け、8月15日当社発表の「2017、2018年度の内外景気見通し」における日本のGDP予測値の改定を行った。

実質GDP成長率は、2017年度+1.5%、2018年度+0.9%と予測する。前回見通し(1次QE後、8月15日)から2017年度は変更なし、2018年度は+0.1%pの小幅上方修正。

2017年4-6月期GDPの2次QEは、1次QEから実質前期比+1.0%→+0.6%(実質前期比年率+4.0%→+2.5%)と下方修正された。内訳をみると、公的固定資本形成が上方修正されたものの、法人企業統計の設備投資の結果を受けて、民間企業設備(実質前期比+2.4%→+0.5%)が大幅に下方修正された。

前回見通しでは、4-6月期の高成長の反動から7-9月期はマイナス成長を見込んでいたが、今回の2次QEの下方修正を受けて、7-9月期の成長率見通しを上方修正した。結果として、2017年度の見通しに変更はない。

先行きは、堅調な世界経済を背景とする輸出・生産の回復持続、雇用・所得環境の改善による消費の持ち直しなどを背景に、緩やかな成長持続を見込む。ただし、北朝鮮情勢の緊迫化などの地政学リスクに加え、米政権の政策運営の停滞、中国共産党大会後の中国経済の行方など、世界経済の下振れ要因が顕現化すれば、日本経済の緩やかな景気回復シナリオにも負の影響が及ぶであろう。

図表 日本経済見通し総括表

|                |                | 今回見通し        |              |              | 前回(1次QE後、8/15) |              |
|----------------|----------------|--------------|--------------|--------------|----------------|--------------|
|                |                | 2016年度<br>実績 | 2017年度<br>予測 | 2018年度<br>予測 | 2017年度<br>予測   | 2018年度<br>予測 |
|                |                | (単位:前年度比)    |              |              |                |              |
| 実質GDP          | 実質国内総生産(実質GDP) | 1.3%         | 1.5%         | 0.9%         | 1.5%           | 0.8%         |
|                | 民間最終消費支出       | 0.7%         | 1.4%         | 0.7%         | 1.3%           | 0.7%         |
|                | 民間住宅           | 6.6%         | 1.5%         | 0.6%         | 1.6%           | 0.6%         |
|                | 民間企業設備         | 2.5%         | 2.3%         | 1.2%         | 3.3%           | 0.8%         |
|                | 民間在庫変動(寄与度)    | ▲0.4%        | ▲0.2%        | 0.1%         | ▲0.1%          | 0.1%         |
|                | 政府最終消費支出       | 0.4%         | 1.0%         | 1.2%         | 0.9%           | 1.2%         |
|                | 公的固定資本形成       | ▲3.2%        | 3.5%         | ▲1.3%        | 2.7%           | ▲1.3%        |
|                | 財貨・サービス純輸出     | ***          | ***          | ***          | ***            | ***          |
|                | 財貨・サービス輸出      | 3.2%         | 3.7%         | 1.4%         | 3.2%           | 1.2%         |
| 財貨・サービス輸入      | ▲1.4%          | 3.2%         | 1.4%         | 3.2%         | 1.4%           |              |
| 寄与度            | 内需寄与度          | 0.5%         | 1.4%         | 0.9%         | 1.5%           | 0.9%         |
|                | 民間寄与度          | 0.6%         | 1.0%         | 0.7%         | 1.2%           | 0.7%         |
|                | 公需寄与度          | ▲0.1%        | 0.4%         | 0.2%         | 0.3%           | 0.2%         |
|                | 外需寄与度          | 0.8%         | 0.1%         | 0.0%         | ▲0.0%          | ▲0.0%        |
| 名目国内総生産(名目GDP) |                | 1.1%         | 1.6%         | 1.9%         | 1.7%           | 1.7%         |
| GDPデフレーター      |                | ▲0.2%        | 0.1%         | 0.9%         | 0.2%           | 0.9%         |

出所:実績は内閣府。予測は三菱総合研究所。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所  
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済研究センター 武田洋子 森重彰浩  
電話:03-6705-6087 メール:ytakeda@mri.co.jp

【取材に関するお問い合わせ】

広報部 吉澤、渋谷、角田  
電話:03-6705-6000 メール:media@mri.co.jp

本資料は、内閣府記者クラブおよび当社にてお付き合いのある記者の方々にもご案内しております。